

資質や能力のリニューアルを研究所で

那覇市立教育研究所 所長 池間生子

「広く教育に役立つことを願って、直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びついた教育活動の推進に寄与する。」これは、那覇市立教育研究所の方針文です。昭和35年に開所して今年で48年目をむかえ、47年間の研究成果を財産に持つ研究所です。

今年も4月早々には、平成19年度の研究内容をまとめたCDを、日々の実践で活用されることを願い各学校・関係機関に配布することができました。

また、4月3日には第90期生の入所式も終了し所内の研修も熱を帯びだしたところです。「何を研究したいのか」「何故そう思ったのか」「それをどうしたいのか」漠然と考えていたことを言葉で、文字で表す苦悩を味わっているようです。

中学2年生における標準学力検査、国語・数学実施についての説明会、校内研究主任を対象とした「校内研究推進講座」等、学校や教職員のニーズに答えられる研究所でありたいと少数精鋭で奮闘中であります。

日々新しいキーワードが飛び出す激動の教育界の中で、情報に踊らされることなく「児童生徒の学び」に視点を置き、人の育ちに関われる素晴らしいことを忘れず、教育の質を高めるため微力ながら頑張ってまいりたいと思います。

各学校、各関係機関の皆様が、気軽に足を運んでいただける身近なサービスセンターとなるよう所員一同、一層の努力をしてまいります。

関係各位のご理解とご支援をお願いし挨拶といたします。

研修



調査・活用

全国標準学力検査

・指導目標の到達状況を把握し、生徒一人一人に適切な学力形成指導を行うための資料として有効活用を図る。

実施期間
平成20年4月21日～4月25日
実施学年・教科
中学2年生全学級 国語・数学

校内研究

・教頭・研究主任を対象に、校内研究のすすめ方・集録のまとめ方等について上江洲指導主事が講座を担当する。

日時・場所
・5月2日(金)15:30～17:00
・那覇市立教育研究所 2F 会議室
・申し込み・内線4041(FAX)かEメール(研究所・小林まで)

所員の紹介

第90期教育研究員

・所長 池間 生子(所運営全般)

<研修G>

指導主事 上江洲 毅(情報教育等)
小林 貞浩(調査研究等)
崎山嗣一郎(研究員研修等)

<庶務・図書G>

主査 高良 篤伸(庶務)
主任主事 田端 栄子(教育図書)
<学校ネットワーク支援G>
主査 大城 孝史(学校ネット)
主任主事 与那城 映(情報・管理)
" 山口 麻子(情報・庶務・管理)

<教育PC保守管理G>

主査 比嘉 徳広(教育PC保守管理)

非常勤 稲福 悅子(")
" 辻戸 豊(")
" 前泊 正悟(")
" 宮里 弥杉(")

入所式を終えて…

「多くの方々にご出席頂いて、身が引き締まる思いでした。これから6ヶ月を充実したものにしていきたいです。福永校長にもあいさつをいただき、心から感謝しています。」 安岡中 植前教諭

よろしくお願ひいたします。